

来週の「売り物」記事はこれ



2015年6月26日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

「爆心地の生き残り」の怒り

広島映像作家 宿命の新作

6月28日(日)



広島と長崎は今年、米軍による原爆投下から70年を迎えます。広島原爆で家族を失った映像作家の田辺雅章さん(77)が、記録映画「知られざるヒロシマの真実と原爆の実態」を完成させました。原爆ドームの隣で生まれ育った田辺さんの「宿命」ともいえる作品です。あの日、何があったのか。何が失われたのか。世界中から人々が訪れる平和記念公園の場所は、かつて4000人が暮らす県内有数の繁華街でした。その真上に原爆は投下されました。映画製作では最新の映像技術を駆使し、広島の政治、経済、文化の中核だった爆心地から半径1kmの範囲を再現。国内外の膨大な資料を検証し、約500人の証言を集めました。集大成ともいえる作品に込めた「爆心地を知る最後の被爆者」の情念に迫ります。



日曜朝は『S』で始まるー。ストーリーにご期待下さい。

実は「あの国」の憲法にそっくり?

自民党の憲法改正草案

夕刊2面特集ワイド 6月30日(火)

自民党の若手議員が先日開いた勉強会で、安全保障関連法案を批判する報道を巡って出席議員から「マスコミを懲らしめるには広告料収入をなくせばいい。文化人が経団連に働き掛けてほしい」との声が上がりました。自民党は言論の自由を否定する「独裁政党」になってしまうのでしょうか。そんな中、専門家が自民党の憲法改正草案と各国の憲法を比較・分析すると、北朝鮮や中国の憲法と似た条文が目立つという興味深い事実が浮かびました。背景を探ります。



「おくのほそ道」を歩く

7月4日(土)



有名な文学作品の舞台を歩く「名作の現場」は、エッセイストの酒井順子さんが松尾芭蕉「おくのほそ道」を取り上げます。弟子の曾良を伴い、約150日かけて江戸から東北・北陸を旅した芭蕉は、折々に名句を残しました。立ち寄った地の一つである福島へ酒井さんが向かい、ゆかりの寺や温泉で芭蕉をしのび、人生の行く末に思いをはせます。

女の気持ちをたずねて

おんなのしんぶん  6月29日(月)



「くらしナビ」面の人気コーナー「女の気持ち」の筆者を訪ね、「その後」を聞くコーナー。今回は、山口県萩市の伏谷江利子さんです。見出しは「愛とは理解すること」

「一生独身のつもりだった」という伏谷さんが、四つ下の夫と出会って結婚。長男を出産しました。その長男が、脳の機能障害が原因の「自閉症」と分かったのは2歳になるころ。最初は息子の行動が理解できず、苦しんだ時期も。しかし、彼の孤独や不安を共有する中で理解を深めたといいます。「おんなのしんぶん」が始まる前から、西部本社版で「女の気持ちをたずねて」を連載していた同本社福岡報道部の福岡賢正副部長が取材しました。長女と3人で撮った楽しそうな写真も必見です！

男の臭い対策

くらしナビ面7月1日(水)

蒸し暑い日が続く、汗や皮脂が気になる季節になりました。男性の臭いが問題視され、最近では、周囲に嫌な思いをさせる「スメルハラスメント」という言葉も出回るほど。そんな中、東北大学とマンダムの調査で、若い女性が男性の汗臭を嗅ぐ能力は、中年男性の約10倍あり、女性の方が体臭に嫌悪感を示すことが分かりました。年代、発生原因に応じた男性の臭い対策が求められています。



トランス脂肪酸 Q&Aで解説

くらしナビ面7月3日(金)



米国で、マーガリンなどに含まれる不飽和脂肪酸の一種「トランス脂肪酸」の使用規制が2018年6月から始まります。過剰摂取が心疾患などのリスクを高めることが分かり、これまでの食品と同等の扱いから、食品添加物と同じように米政府に申請し、使用の認可が必要なものになりました。では、日本人の摂取量は？ どんな食品にどれだけ入っている？ そんな疑問にお答えします。

未来に1票——

18歳選挙権 期待と課題

7月3日(金) オピニオン面 [論点]

選挙権年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられ、来年夏の参院選挙から適用される見通しです。選挙権年齢の引き下げは、1945年の終戦直後以来のことで、実に70年ぶりの参政権拡大になりました。成人が2歳若返ることで、改正後の選挙では、有権者が240万人増えるといいます。少子化が進展する一方で、若者層の投票率がふるわず、高齢世代偏重の「シルバー民主主義」とも指摘される、今日の日本政治。そうしたなか、「18歳選挙権」はこの国の政治を変えていくきっかけになるのでしょうか。3人の識者の話に耳を傾けました。するとそこからは期待ばかりでなく、「主権者教育の推進」など課題も浮かび上がってきました。



「知りたい」が分かる。

オピニオン面にご注目ください。